

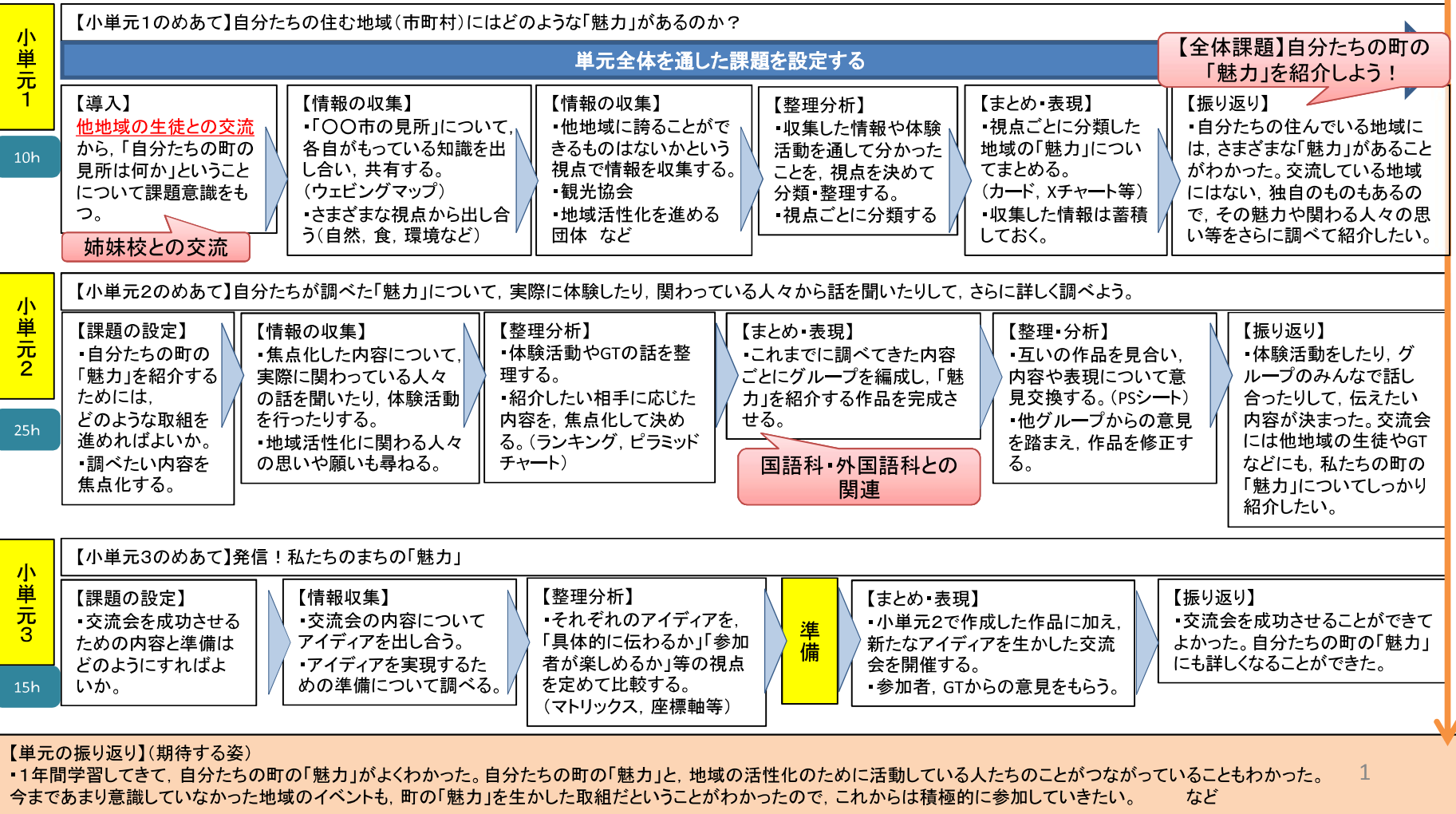
中学校第1学年 総合的な学習の時間の単元計画【50時間】(例)



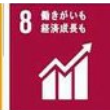
探究課題(例): まちの食や景観, 環境等の特徴とそれを生かした地域活性化に取り組む人々の創意工夫

単元のねらい: 自分たちの住む地域の食や景観, 環境等についての探究的な学習を通して, 地域の資源を生かしてその活性化に関わる人々の思いや願いを理解するとともに, 地域活性化のために自分たちができることについて必要な情報を収集したり, 実現可能で持続可能な取組になるように, 他地域の取組と比較したり, アイディアを焦点化したりして考え, 地域の取組に興味をもち進んで関わろうとするようにする。

単元のめあて: ○○市(町, 村)の魅力を調べて紹介しよう



本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力



単元名： ○○市(町, 村)の魅力を調べて紹介しよう(中学校第1学年:50時間)

時期	5月～9月	10月～12月	1月～2月	
探究の過程	自分たちの住む地域(市町村)にはどのような「魅力」があるのか調べる(15時間)	自分たちが調べた「魅力」について、実際に体験したり、関わっている人々から話を聞いたりして、さらに詳しく調べる(20時間)	発信！私たちのまちの「魅力」(15時間)	【社会】「私たち歴史探検隊」 ・神話が、神楽をはじめとした各地の伝統芸能に取り入れられ、受け継がれていることに気付く。(知)
課題設定	・他地域の生徒との交流から、「自分たちの町の見所は何か」ということについて課題意識をもつ。	・自分たちの町の「魅力」を紹介するためには、どのような取組を進めればよいか。 ・調べたい内容を焦点化する。	・交流会を成功させるための内容と準備はどのようにすればよいか。	
情報収集	・「○○市の見所」について、各自がもっている知識を出し合い、共有する。(ウェビングマップ) ・さまざまな視点から出し合う(自然、食、環境など) ・他地域に誇ることができるものはないかという視点で情報を収集する。 ・観光協会、地域活性化を進める団体 など	・焦点化した内容について、実際に関わっている人々の話を聞いたり、体験活動を行ったりする。 ・地域活性化に関わる人々の思いや願いも尋ねる。	・交流会の内容についてアイデアを出し合う。 ・アイデアを実現するための準備について調べる。	【国語】「情報を集める」 ・インタビューやアンケートの進め方を理解する。(知・技)
整理分析	・収集した情報や体験活動を通して分かったこと、視点を決めて分類・整理する。 視点ごとに分類する	【整理分析①】 ・体験活動やGTの話を整理する。 ・紹介したい相手に応じた内容を、焦点化して決める。(ランキング、ピラミッドチャート)	【整理分析②】 ・互いの作品を見合い、内容や表現について意見交換する。(PSシート) ・他グループからの意見を踏まえ、作品を修正する。	【国語】「いろいろな発想法」 ・目的に合った発想法で考えを広げたり深めたりする。(知・技)※考えるための技法の活用
まとめ表現 振り返り	・視点ごとに分類した地域の「魅力」についてまとめる。(カード、Xチャート等) ・収集した情報は蓄積しておく。 【期待する振り返り】 ・自分たちの住んでいる地域には、さまざまな「魅力」があることがわかった。交流している地域にはない、独自のものもあるので、その魅力や関わる人々の思い等をさらに調べて紹介したい。	・これまでに調べてきた内容ごとにグループを編成し、「魅力」を紹介する作品を完成させる。	【期待する振り返り】 ・体験活動をしたり、グループのみんで話し合ったりして、伝えたい内容が決まった。交流会には他地域の生徒やGTなどにも、私たちの町の「魅力」についてしっかり紹介したい。	【国語】「資料の工夫」 ・伝えたい内容を分かりやすく提示するために、資料を工夫する。(思・判・表) 「文章の推敲・原稿用紙の使い方」 ・文章をよりよく仕上げるための推敲や原稿用紙の使い方を身に付ける。(知・技) 「感想を表す言葉」 ・感想を伝えたいとき、それを生き生きと的確に述べるための言葉を増やす。(知・技)
	【社会】「身近な地域の調査」 ・調査テーマについて、地域の自然環境や他地域との結び付き、人々の営みとの関わりから、多面的・多角的に考察する。(思・判・表)	【国語】「話題や方向を捉えて話し合おう」(話す・聞く) ・話し合いの話題や方向を捉え、相手の反応を踏まえて話したり、自分の考えをまとめて表現する。(思・判・表)	【国語】「根拠を明確にして魅力を伝えよう」(書く) ・根拠を明確にして、その魅力を伝える文章を書く。(思・判・表)	【国語】「調べたことを報告しよう」(書く) ・調べたことを整理し、構成を工夫してレポートを書く。(思・判・表) ・情報を的確に伝える表現や構成に気づき、自分のレポートに取り入れる。(知・技)
	【国語】「言葉を集めよう」 ・例文の観点を参考にして、多くの言葉を集める。(知・技)	【国語】「感じたことを整理する」(書く) ・感じたことや読み取ったことを観点別に整理する。(思・判・表)	【社会】「日本の諸地域」 ・日本の諸地域の地域的特色を、ある地理的事象を中核として、ほかの地理的事象と関連付けるなど多面的・多角的に考察する。(思・判・表) ・地域的特色を学習し考察した過程や結果を、適切に図表にまとめたり、自分の言葉で表現する。(思・判・表) ・日本の諸地域の自然環境や人口、産業などの特色などについて理解する。(知) ・収集した資料から、日本の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめる。(技)	【数学】「資料の活用」 ・目的に合わせて資料を収集したり整理したりして、その傾向を発表する。(思・判・表) ・身のまわりの課題を解決するために、資料の傾向をとらえる。(思・判・表) ・ヒストグラムや代表値などを用いて、資料を整理する。(技)
				【国語】「1年間の学びを振り返ろう」(話す・聞く／書く) ・話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら発表する。(知・技) ・1年間の学習の中から題材を選び、分析したことを整理してまとめる。(思・判・表)

中学校第3学年 総合的な学習の時間の単元計画【70時間】(例)



単元のめあて:	地域のまちづくりや活性化に取り組む人々の創意工夫と、働くことの意味や願い
単元のねらい:	自分たちの住む地域のまちづくりや地域活性化に取り組んでいる人々、地域で働く人々の願い、働くことの意味についての探究的な学習を通して、地域の人・もの・ことと自分たちとの関わりや地域の特徴を理解し、地域の現状から問題を見出し、その解決に向けて必要な情報を収集し、目的に応じて比較・分類・関連付け・焦点化して考える力や相手や目的に応じてまとめ表現する力を身に付けるとともに、地域のためにできることを考え行動しようとするようにする。
単元のめあて:	地域の活性化につながるイベントを企画して実行しよう

小単元1 15h

【小単元1のめあて】自分たちの地域の「よさ」とは何だろうか？

単元全体を通した課題を設定する

【導入】
・地域の観光客数のデータを示し、その推移から「地域のよさ」について話し合う。

【情報の収集①】
・地域の人や観光客の思いや考えを尋ねる。
・実際にアンケート等の調査を行う。

【整理・分析】
・アンケート結果を視点を決めて分類、整理する。
・自分たちがもつ「地域のよさ」と異なるよさを見出す。

【情報の収集②】
・「異なるよさ」について、団体を見学したりインタビューしたりする。

【まとめ・表現】
・情報の収集②を踏まえ、もう一度「地域のよさ」について話し合う。

【振り返り】
・自分たちの地域のよさは「○○」だと思っていたけど、いろいろな人に尋ねてみて「●●」などもあることや、「●●」に関わる人々の思いもわかった。地域のよさを生かし、自分たちも参画できるイベントを考えてみたい。

地域社会に貢献できるイベントを企画・実行しよう

小単元2 35h

【小単元2のめあて】地域社会に貢献できるイベントを企画しよう

【課題の設定】
・地域の現状についてイメージを広げ、友達の間と比較する(ウェビング)
・地域の現状の調査に出かける。(産業、イベント等)

【情報の収集】
・行政機関や各業種の事業所へ体験やインタビューに出かける。
・地域の現状について知りたいことを、住民に尋ねる。

【整理分析】
・体験活動や働くことの意味について話し合う。
・住民の思いや願い、地域の現状を踏まえ、イベントの内容について考える。

【まとめ・表現】
・調査結果や体験結果をレポートや新聞などにまとめる。
・事業所や住民に対して地域活性化のためのイベントについてプレゼンテーションを行う。

【整理・分析】
・住民や事業所の方の意見を踏まえ、自分たちのイベントの内容について、視点を決めて見直す。

【振り返り】
・調査活動や職場体験で、地域の現状や働くことについて考えることができた。自分たちで考えたイベントにも意見をもらったので、内容を考え直してイベントを企画したい。

国語科・外国語科との関連

小単元3 20h

【小単元3のめあて】地域のよさを実感できるイベントにしよう

【課題の設定】
・イベントを成功させるための内容と準備をどうするか

【情報収集】
・地域に密着したイベントについて、他地域の情報を集める。
・イベントに対する住民等の思いや願いを尋ねる。

【整理分析】
・「実現可能」「準備が簡単」「みんなが楽しめる」「住民の意見を反映」などの視点で、イベントの内容を話し合う。

準備

【まとめ・表現】
・イベントを実行する。
・イベントの記録をとっておく。

【振り返り】
・イベントを実行できてよかった。住民のみなさんや事業所のみなさんの意見も参考にしたので、地域のよさがるイベントになったと思う。
・住民や事業所の方へお礼の手紙を書く。

【単元の振り返り】(期待される姿)
・自分たちの地域のよさや現状が分かった。そこで暮らしている住民や地域の活性化につながる活動をしている事業所の方との交流を通して、地域を大切にすることや自分たちから積極的に関わっていくことの大切さが分かった。1年間地域のことや職業のことについて学んだことで、地域と自分とのつながりや、これからの自分の将来について考えることができた。 など

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力



単元名： 地域の活性化につながるイベントを企画して実行しよう(中学校第3学年:70時間)

時期	5月～9月		10月～12月		1月～2月	
探究の過程	自分たちの地域の「よさ」について調べる(15時間)		地域社会に貢献できるイベントを企画する(35時間)		地域のよさを実感できるイベントを実行する(20時間)	【特別活動】「学校行事・勤労生産・奉仕的行事」 ・勤労生産や奉仕に関して自分のできることを判断し、多様な他者と協力して実践する。(思・判・表)
課題設定	・地域の観光客数のデータを示し、その推移から「地域のよさ」について話し合う。		・地域の現状についてイメージを広げ、友達の考えと比較する(ウェビング) ・地域の現状の調査に出かける。(産業、イベント等)		・イベントを成功させるための内容と準備をどうするか	
情報収集	【情報の収集①】 ・地域の人や観光客の思いや考えを尋ねる。 ・実際にアンケート等の調査を行う。	【情報の収集②】 ・「異なるよさ」について、団体を見学したりインタビューしたりする。	・行政機関や各業種の事業所へ体験やインタビューに出かける。 ・地域の現状について知りたいことを、住民に尋ねる。		・地域に密着したイベントについて、他地域の情報を集める。 ・イベントに対する住民等の思いや願いを尋ねる。	※これまでに身に付けた情報収集の方法 ※考えるための技法の活用
整理分析	1 ・アンケート結果を視点を決めて分類、整理する。 ・自分たちがもつ「地域のよさ」と異なるよさを見出す。	2 ・「実現可能」「準備が簡単」「みんなが楽しめる」「住民の意見を反映」などの視点で、イベントの内容を話し合う。	【整理分析①】 ・体験活動や働くことの意義について話し合う。 ・住民の思いや願い、地域の現状を踏まえ、イベントの内容について考える。	【整理分析②】 ・住民や事業所の方の意見を踏まえ、自分たちのイベントの内容について、視点を決めて見直す。	準備	【国語】「話し合って提案をまとめよう」(話す・聞く) ・社会生活の中から話題を決めて資料などを活用して提案する。(思・判・表) ・観点に沿って論点を整理し、長所を生かしてよりよい結論になるように話し合いを進行する。(思・判・表)
まとめ表現振り返り	・情報の収集②を踏まえ、もう一度「地域のよさ」について話し合う。 【期待する振り返り】 ・自分たちの地域のよさは「○○」だと思っていたけど、いろいろな人に尋ねてみて「●●」などもあることや、「●●」に関わる人々の思いもわかった。地域のよさを生かし、自分たちも参加できるイベントを考えてみたい。	・調査結果や体験結果をレポートや新聞などにまとめる。 ・事業所や住民に対して地域活性化のためのイベントについてプレゼンテーションを行う。 【期待する振り返り】 ・調査活動や職場体験で、地域の現状や働くことについて考えることができた。自分たちで考えたイベントにも意見をもったので、内容を考え直してイベントを企画したい。があることを、もっと多くの人たちに知ってもらいたい。	2	・まとめ・表現】 ・イベントを実行する。 ・イベントの記録をとっておく。 ・住民や事業所の方へお礼の手紙を書く。 【期待する振り返り】 ・自分たちの地域のよさや現状が分かった。そこで暮らしている住民や地域の活性化につながる活動をしている事業所の方との交流を通して、地域を大切にすることや自分たちから積極的に関わっていくことの大切さが分かった。1年間地域のことや職業のことについて学んだことで、地域と自分とのつながりや、これからの自分の将来について考えることができた。 など	【国語】「観点を立てて分析する」(書く) ・観点を立てて分析することで、課題について論じたり評価したりする。(思・判・表)	
【国語】「社会との関わりを考えよう」(話す・聞く)	【社会】「私たちの生活と文化について考えよう」 ・身近な地域社会のなかから、伝統文化を受け継いでいる事例を取り上げ、これからも継承することの意義を考え表現する。(思・判・表)	【社会】「持続可能な社会について考えよう」 ・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、判断して、その過程や結果を適切に表現する。(思・判・表)	【家庭】「世代を超えた人々と交流して」 ・地域との関わりについて考え、人々と協力しながら行動することの大切さが分かる。(知・技)	【国語】「説得力のある文章を書こう」(書く) ・分析のための観点を示し、判断や批評の根拠を明確にし、資料を適切に引用して、説得力のある構成で批評文を書く。(思・判・表) ・友達の書いた批評文から参考になる部分や表現を指摘し、自分の表現に役立てる。(思・判・表)	【国語】「推敲して文章を整える」(書く) ・示された観点に沿って文章を見直し、文章全体を整える。(思・判・表)	
【国語】「魅力的な紙面を作ろう」(書く)	・文章を読み返し、形態に合った文章構成や効果的な表現になるよう、紙面の体裁を整える。(思・判・表)		【家庭】「伝統文化を受け継ぎ、生活に生かす」 ・自分の住んでいる地域の文化を知るとともに、他の地域についても理解し、生活に生かす。(知・技)	【国語】「いろいろな文章形態」(書く) ・伝えたい内容や目的に応じた形態を選んで書く。(思・判・表)		

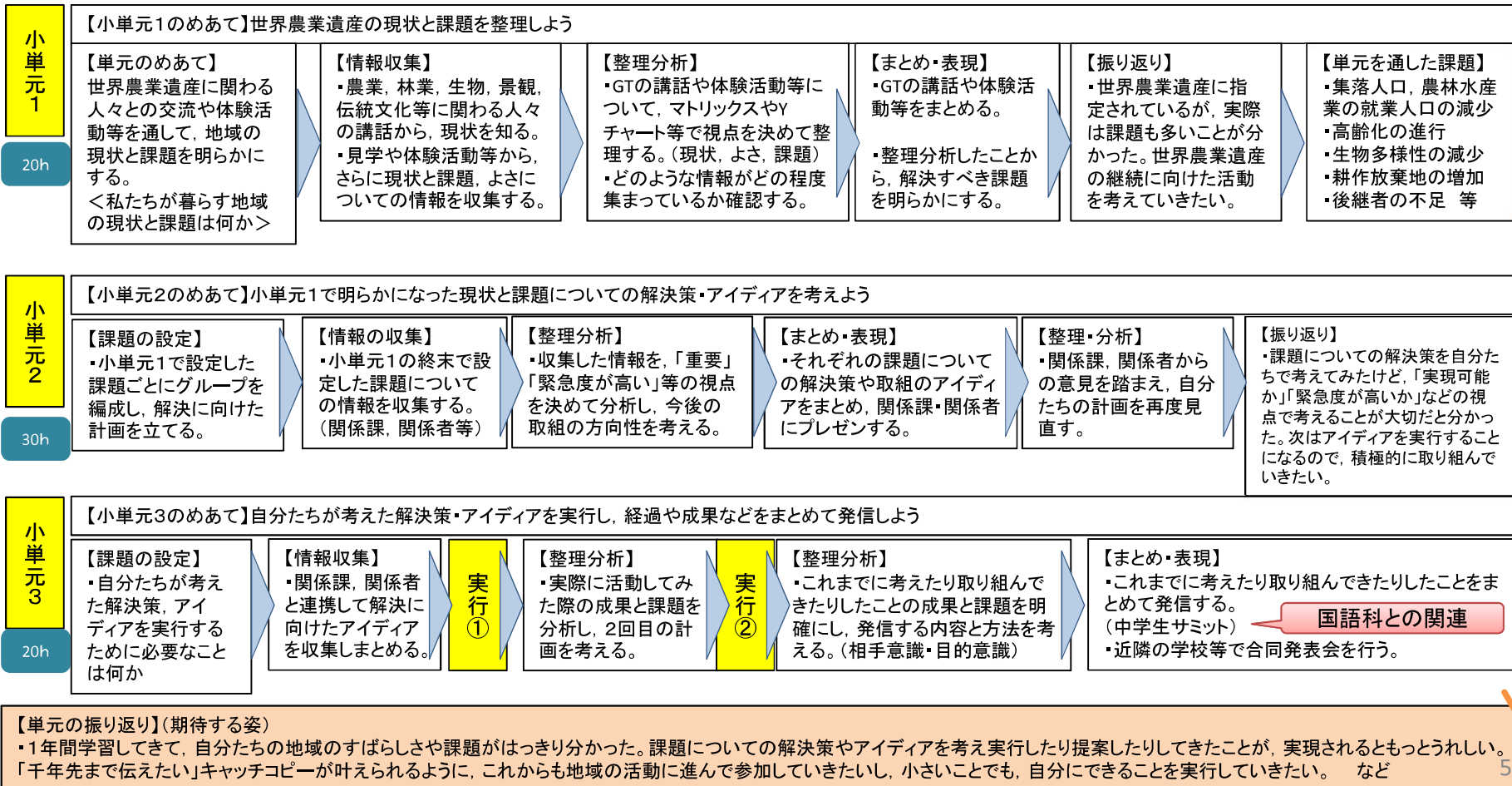
中学校第2学年 総合的な学習の時間の単元計画【70時間】(例)



探究課題(例): 世界農業遺産の価値や特徴と、その継承と発展に向けて取り組む組織や人々の思いや願い、創意工夫と、それを実現しようとする意義

単元のねらい: 地域の自然や伝統文化、農業及び林業、景観等についての探究的な学習を通して、地域が抱える現状と課題を明らかにし、課題の解決に向けて主体的に情報を収集したり、見出した事実や関係を比較したり因果関係を推論したりして考えたりして、地域と自分とのかかわりを理解するとともに積極的に活動しようとするようにする。

単元のめあて: 世界農業遺産の継承と発展に向けた取組を考え、実行・発信しよう



本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力



単元名: 世界農業遺産の継続と発展に向けた取組を考え、実行・発信しよう(中学校第2学年:70時間)

時期	5月～9月	10月～12月	1月～2月
探究の過程	世界農業遺産の現状と課題を整理しよう(20時間)	小単元1で明らかになった現状と課題についての解決策・アイデアを考える(30時間)	自分たちが考えた解決策・アイデアを実行し、経過や成果などをまとめて発信する(20時間)
課題設定	・世界農業遺産に関わる人々との交流や体験活動等を通して、地域の現状と課題を明らかにする。 ＜私たちが暮らす地域の現状と課題は何か＞	・小単元1で設定した課題ごとにグループを編成し、解決に向けた計画を立てる。	・自分たちが考えた解決策、アイデアを実行するために必要なことは何か
情報収集	・農業、林業、生物、景観、伝統文化等に関わる人々の講話から、現状を知る。 ・見学や体験活動等から、さらに現状と課題、よさについての情報を収集する。	・小単元1の終末で設定した課題についての情報を収集する。 (関係課、関係者等)	・関係課、関係者と連携して解決に向けたアイデアを収集しまとめる。 実行①
整理分析	・GTの講話や体験活動等について、マトリックスやYチャート等で視点を決めて整理する。(現状、よさ、課題) ・どのような情報がどの程度集まっているか確認する。	【整理分析①】 ・収集した情報を、「重要」「緊急度が高い」等の視点を決めて分析し、今後の取組の方向性を考える。	【整理分析①】 ・実際に活動してみた際の成果と課題を分析し、2回目の計画を考える。 実行②
まとめ表現振り返り	・GTの講話や体験活動をまとめる。 ・整理分析したことから、解決すべき課題を明らかにする。 【期待する振り返り】 ・世界農業遺産に指定されているが、実際は課題も多いことが分かった。世界農業遺産の継続に向けた活動を考えていきたい。 【単元を通した課題】 ・集落人口、農林水産業の就業人口の減少 ・高齢化の進行、生物多様性の減少 ・耕作放棄地の増加、後継者の不足等	・それぞれの課題についての解決策や取組のアイデアをまとめて、関係課・関係者にプレゼンする。 【期待する振り返り】 ・課題についての解決策を自分たちで考えてみたけど、「実現可能か」「緊急度が高いか」などの視点で考えることが大切だと分かった。次に、アイデアを実行することになるので、積極的に取り組んでいきたい。	・これまでに考えたり取り組んできたことをまとめて発信する。(中学生サミット) ・近隣の学校等で合同発表会を行う。 【期待する振り返り】 ・1年間学習してきて、自分たちの地域のすばらしさや課題がはつきり分かった。課題についての解決策やアイデアを考え実行したり提案したりしてきたことが、実現されるともつとうれしい。「千年先まで伝えたい」キャッチコピーが叶えられるように、これからも地域の活動に前進で参加していきたいし、小さいことでも、自分にできることを実行していきたい。 など
【家庭】「世代を超えた人々と交流して」 ・家庭生活と地域との関わりや、人々と協力しながら行動することの大切さを考える。(思・判・表)	【国語】「要点を整理して聞き取る」 ・情報を的確に聞き取り、要点を押さえたメモを作成する。(技)	【社会】「私たち歴史探検隊一町の歴史から将来を考える」 ・これまでの学習活動や体験活動等を踏まえ、持続可能な地域となるための提言を考えたり、自分たちに行き届くことを実行する。(思・判・表)	【家庭】「地域の食材と食文化」 ・地域で生産される食材を知り、調理を通して地域の食文化を知る。(知・技) ・日本の行事食について知り、行事食を生活に生かす。(知・技) ・食生活と環境との関わりについて、輸送、生産者と消費者、地域の気候や地産地消等の視点から多面的に捉え、自分の考えをもつ。(思・判・表)
【社会】「調査の達人」(地理分野から:東書P266～280) ・調査活動を進める上で必要な基礎的・基本的な技能を身に付ける。(技) ・情報の収集の仕方・グループ調査の仕方 ・調査テーマの決め方・野外観察の仕方・聞き取り調査の仕方 ・資料を活用して調査する・調査結果を地図でまとめる・発表の仕方 など	【国語】「魅力的な提案をしよう」(話す・聞く) ・多様な方法で情報を集め、目的や聞き手に合わせて、材料を整理して、伝えたいことが明確な構成、展開を作る。(思・判・表)	【国語】「根拠を明確にして意見を書こう」(書く) ・自分の立場を決め、根拠を明らかにして、構成を工夫して文章を書く。(思・判・表)	【数学】「資料の活用」※中1 ・目的に合わせて資料を収集したり整理したりして、その傾向を発表する。(思・判・表) ・身のまわりの課題を解決するために、資料の傾向をとらえる。(思・判・表) ・ヒストグラムや代表値などを用いて、資料を整理する。(技)

中学校第1学年 総合的な学習の時間の単元計画【50時間】(例)



探究課題(例): 世界農業遺産の文化的側面と、その継承のために取り組んでいる組織や人々の思いや願い

単元のねらい: 世界農業遺産についての横断的・総合的な学習を通して、ふるさとの魅力を発見し、世界農業遺産と六郷満山文化との関わりや自分たちと世界農業遺産の文化的つながりを理解するとともに、次世代に継承すべき先人の知恵の深さについての考えをまとめて表現する力を育成し、地域の活動に積極的に参加しようとするようにする。

単元のめあて: 世界農業遺産の文化的側面について考え、継承するためにできることを考え実行しよう

小単元1(15時間)	資質・能力	小単元2(20時間)	資質・能力	小単元3(15時間)	資質・能力
<p>【課題の設定】 ・認定地域の魅力を出し合い共有し、地域のよさを広げていくための課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・自分で考えたことや家庭及び地域の人たちに聞き取りをし、ふるさとの魅力を裏付ける理由を収集する。</p> <p>【整理分析】 ・収集した情報を出し合い、KJ法で整理する。 ・世界農業遺産と六郷満山文化との関わりを整理する。</p> <p>【まとめ・表現】 ・調べてまとめたことを共有し、世界農業遺産と六郷満山文化との関わりについて、新たな課題を見いだす。</p> <p>【振り返り】 ・世界農業遺産について調べてみると、六郷満山文化と関係していることが分かった。どちらも歴史が深いけど、いつごろから関係があるのか、もう少し調べてみたい。</p>	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。 課題解決に向けて、互いの特徴を生かして協働的に探究活動に取り組む。</p> <p>事象を比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析する。</p> <p>調べたことをまとめる中で、新たな疑問や課題を見いだす。</p> <p>課題の解決に向けて、進んで取り組もうとする。</p>	<p>【課題の設定】 ・六郷満山文化について疑問に思ったことを出し合い共有し、世界農業遺産とどのような関係があるのか仮説を立て、課題をつくる。</p> <p>【情報の収集】 ・世界農業遺産や六郷満山文化に携わるGTの講話を聴き、両者の歴史と現状についての情報を収集する。 ・パンフレット等からも情報を収集する。</p> <p>【整理分析】 ・GTの話等から世界農業遺産と六郷満山文化の関わりを明らかにする。 ・両者の関係や、多くの方々に知ってもらいたいことなどを整理する。</p> <p>【まとめ・表現】 ・多くの人たちに知らせたい内容に応じた表現方法を考える。 ・これまでの学習をまとめ、文化祭で発表する。</p> <p>【振り返り】 ・世界農業遺産と六郷満山文化のつながりが分かった。1300年前に開山したことや、文化遺産や伝統文化などがあることを、もっと多くの人たちに知ってもらいたい。</p>	<p>仮説を立てて検証方法を考える。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。 課題の解決に向けて、進んで取り組もうとする。</p> <p>事象を比較したり多面的に検討したりして、課題の解決に向けて自分の考えを整理する。</p> <p>目的に応じて整理したり表現したりする。</p> <p>学習の進め方を振り返り、次の学習に生かそうとする。</p>	<p>【課題の設定】 ・これまでに調べてまとめてきた世界農業遺産と六郷満山文化との関わりを踏まえ、地域の農林水産業等の現状から課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・地域の農林水産業等に従事する人々の願いや要望などを収集する。 ・関係課から情報を収集する。</p> <p>【整理分析】 ・収集した情報を、視点を決めて分類したり、グラフ化したりして成果や問題点を明確にする。 ・問題点に対する解決策やアイデアを出し合い、発信する内容と方法を決める。</p> <p>【まとめ・表現】 ・これまでに関わった方々や、認定地域内の小学生、中学生を招待して、「世界農業遺産の継承と発展に向けて自分たちにできること」として発表する。</p> <p>【振り返り】 ・認定地域になって有名になっているけど、継承する人が少ないことや、生産を維持するために様々な工夫や努力が必要であることが分かった。</p>	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて情報を収集する。</p> <p>視点を定めて情報を比較・分類・関連付け、自分たちにできることを考える。</p> <p>相手や目的、意図に応じて論理的に表現する。</p> <p>地域と自分との関わりを考えながら、積極的に地域の活動に参加する。</p> <p style="text-align: right;">7</p>

【単元の振り返り】(期待する姿)

・自分の住んでいる地域が世界農業遺産の認定地域になっていたことは知っていたけど、これまではあまり興味もなかった。1年間学習してみて、古くから伝わる文化や自然環境、生産に携わる人々の工夫や努力が分かったのと同時に、継承していくための課題も分かった。世界農業遺産の素晴らしさについて、もっと多くの方々に知ってもらうようにすることや、自然を大事にすることなど、自分にできることは進んでやっていきたい。 など

※国東地区の実践をもとに作成

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力



単元名： 世界農業遺産の文化的側面について考え、継承するためにできることを考え実行しよう(中学校第1学年:50時間)

時期	5月～9月	10月～12月	1月～2月	
探究の過程	世界農業遺産の文化的側面について調べる(15時間)	世界農業遺産の文化的側面について、考えたことを発表する(20時間)	世界農業遺産の継承についてできることを考えて発表する(15時間)	【社会】「私たち歴史探検隊」 ・神話が、神楽をはじめとした各地の伝統芸能に取り入れられ、受け継がれていることに気付く。(知)
課題設定	・認定地域の魅力を出し合い共有し、地域のよさを広げていくための課題を見いだす。	・六郷満山文化について疑問に思ったことを出し合い共有し、世界農業遺産とどのような関係があるのか仮説を立て、課題をつくる。	・これまでに調べてまとめてきた世界農業遺産と六郷満山文化との関わりを踏まえ、地域の農林水産業等の現状から課題を見いだす。	
情報収集	・自分で考えたことや家庭及び地域の人たちに聞き取りをし、認定地域の魅力を裏付ける理由を収集する。	・世界農業遺産や六郷満山文化に携わるGTの講話を聴き、両者の歴史と現状についての情報を収集する。 ・パンフレット等からも情報を収集する。	・地域の農林水産業等に従事する人々の願いや要望などを収集する。 ・関係課から情報を収集する。	【国語】「情報を集める」 ・インタビューやアンケートの進め方を理解する。(知・技)
整理分析	・収集した情報を出し合い、KJ法で整理する。 ・世界農業遺産と六郷満山文化との関わりを整理する。	・GTの話等から世界農業遺産と六郷満山文化の関わりを明らかにする。 ・両者の関係や、多くの方々に知ってもらいたいことなどを整理する。	・収集した情報を、視点を決めて分類したり、グラフ化したりして成果や問題点を明確にする。 ・問題点に対する解決策やアイデアを出し合い、発信する内容と方法を決める。	【国語】「いろいろな発想方法」 ・目的に合った発想方法で考えを広げたり深めたりする。(知・技)※考えるための技法の活用
まとめ表現振り返り	・調べてまとめたことを共有し、世界農業遺産と六郷満山文化との関わりについて、新たな課題を見いだす。 【期待する振り返り】 世界農業遺産について調べてみると、六郷満山文化と関係していることが分かった。どちらも歴史が深いけど、いつごろから関係があるのか、もう少し調べてみたい。	・多くの人たちに知らせたい内容に応じた表現方法を考える。 ・これまでの学習をまとめ、文化祭で発表する。 【期待する振り返り】 世界農業遺産と六郷満山文化のつながりが分かった。1300年前に関わったことや、文化遺産や伝統文化などがあることを、もっと多くの人たちに知ってほしい。	・これまでに関わった方々や、認定地域内の小学生、中学生を招待して、「世界農業遺産の継承と発展に向けて自分たちにできること」として発表する。 【期待する振り返り】 認定地域になって有名になっているけど、継承する人が少ないことや、生産を維持するために様々な工夫や努力が必要であることが分かった。	【国語】「資料の工夫」 ・伝えたい内容を分かりやすく提示するために、資料を工夫する。(思・判・表) 「文章の推敲・原稿用紙の使い方」 ・文章をよりよく仕上げるための推敲や原稿用紙の使い方を身に付ける。(知・技) ・感想を表す言葉」 ・感想を伝えたいとき、それを生き生きと的確に述べるための言葉を増やす。(知・技)
【国語】「情報の集め方を知ろう」 ・本やインターネットを用いて情報を集めて読み取り、テーマに対して必要な情報を選択する。(知・技) ・新聞に書かれている情報を整理し、記事の要旨を捉える。(知・技)	【国語】「調べたことを報告しよう」(書く) ・調べたことを整理し、構成を工夫してレポートを書く。(思・判・表) ・情報を的確に伝える表現や構成に気づき自分のレポートに取り入れる。(知・技) 【国語】「話題や方向を捉えて話し合おう」(話す・聞く) ・話し合いの話題や方向を捉え、相手の反応を踏まえて話したり、自分の考えをまよゝ表現する。(思・判・表)	【国語】「感じたことを整理する」(書く) ・感じたことや読み取ったことを視点別に整理する。(思・判・表) 【国語】「根拠を明確にして魅力を伝えよう」(書く) ・根拠を明確にして、その魅力を伝える文章を書く。(思・判・表)	【国語】「1年間の学びを振り返ろう」(話す・聞く／書く) ・話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら発表する。(知・技) ・1年間の学習の中から題材を選び、分析したことを整理してまとめる。(思・判・表)	【数学】「資料の活用」 ・目的に合わせて資料を収集したり整理したりして、その傾向を発表する。(思・判・表) ・身のまわりの課題を解決するために、資料の傾向をとらえる。(思・判・表) ・ヒストグラムや代表値などを用いて、資料を整理する。(技)
【国語】「言葉を集めよう」 ・例文の観点を参考にして、多くの言葉を集める。(知・技)	【社会】「身近な地域の調査」 ・調査テーマについて、地域の自然環境や他地域との結びつき、人々の営みとの関わりから、多面的・多角的に考察する。(思・判・表)	【社会】「日本の諸地域」 ・日本の諸地域の地域的特色を、ある地理的事象を中核として、ほかの地理的事象と関連付けるなど多面的・多角的に考察する。(思・判・表) ・地域的特色を学習し考察した過程や結果を、適切に図表にまとめたり、自分の言葉で表現する。(思・判・表) ・日本の諸地域の自然環境や人口、産業などの特色などについて理解する。(知) ・収集した資料から、日本の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめる。(技)		

中学校第1学年 総合的な学習の時間の単元計画【50時間】(例)



探究課題(例): 地域の〇〇や〇〇などのよさと、それらの維持・継承・発展に取り組む人々の工夫や思い

単元のねらい: 地域の歴史や文化などについての探究的な学習を通して、自分たちのまちの歴史や文化、それらに携わる人々の取組等について理解するとともに、自分たちと地域との関わりから課題を見だし、その解決に向けて主体的・協働的に情報を収集し目的に応じて比較したり関連付けたりして考える力を育て、自分の住む地域に関心を持ち、積極的に関わろうとするようにする。

単元のめあて: 自分たちの地域のよさを見つけ、地域を紹介するオリジナルガイドブックを作って紹介しよう

小単元1(10時間)	資質・能力	小単元2(25時間)	資質・能力	小単元3(15時間)	資質・能力
<p>【課題の設定】 ・自分たちの住んでいる地域について、知っていることや知らないこと、興味があることなどについて出し合い共有することから課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・地域をフィールドワークをしながら、まちのよさについての情報を収集する。</p> <p>【整理分析】 ・収集した情報を、歴史・文化・建造物などの視点を決めて整理し、それぞれのよさや特徴をまとめる。</p> <p>【情報の収集】 ・整理したまちの特徴を地域の方々に紹介しながら、歴史や文化以外の視点から、さらにまちのよさを収集する。 ・観光ガイドブックなどを参考にする。</p> <p>【まとめ・表現】 ・自分たちのまちには歴史や文化など、さまざまなよさがあることが分かった。まちにやってくる観光客は、どのような情報を参考にしているのか。また、自分たちが調べたまちのよさを知っているのか。</p>	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <p>事象を比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析する。</p> <p>目的に応じた必要な情報を収集する。</p> <p>学習したことを自分との関わりでまとめる中で、新たな疑問を見いだす。</p>	<p>【情報の収集】 ・まちを訪れた観光客に小単元1で調べたまちのよさを紹介しながら、観光客が求めている情報を収集する。</p> <p>【課題の設定】 ・小単元1でまとめたまちのよさと、観光客が求めている情報を比較して、課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・関係課の方々や、観光ガイドの方からの話を聞く。 ・必要に応じて、フィールドワークを行う。</p> <p>【整理分析】 ・収集した情報を、Yチャート等で視点を決めて分類、整理する。 ・整理したまちのよさを、まちに住んでいる人の視点からランキングする。</p> <p>【まとめ・表現】 ・調べたまちのよさがコンパクトに表現できるように内容を考え、マップに整理したガイドブックを作成する。</p> <p>【振り返り】 ・自分たちの視点で、まちのよさをまとめることができた。まちを訪れた人たちに、このガイドブックでどんどん紹介したい。</p>	<p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <p>仮説を立てて検証方法を考える。</p> <p>課題の解決に向けて、進んで取り組もうとする。</p> <p>事象を比較したり多面的に検討したりして、課題の解決に向けて自分の考えを整理する。</p> <p>目的に応じて整理したり表現したりする。</p> <p>学習の進め方を振り返り、次の学習に生かそうとする。</p>	<p>【課題の設定】 ・ガイドブックを使った効果的な紹介の仕方を考える。</p> <p>【情報の収集】 ・作成したガイドブックを班ごとやクラスごとに見合い、意見やアドバイスを交流する中で、修正点を見いだす。</p> <p>【整理分析】 ・意見やアドバイスを整理し、ガイドブックを修正したり紹介方法を再構成したりする。</p> <p>【まとめ・表現】 ・まちに出かけ、まちを訪れた人々にガイドブックを使って紹介する。 ・必要に応じてまちをガイドする。</p> <p>【振り返り】 ・自分たちが作ったガイドブックが、まちを訪れた人たちに受け入れられてよかった。住んでいる者が勤める場所などにもぜひ行ってもらい、何度もこのまちに来てくれるとうれしい。</p>	<p>まちの紹介に向けての課題をつくる。</p> <p>ガイドブックを見合いながら修正点を見付ける。</p> <p>目的に応じて意見を整理する。</p> <p>相手や目的に応じて表現方法を選択し、効果的に表現する。</p> <p>学習を振り返り、今後の学習や生活に生かす。</p> <p>ふるさとと自分との関わりが分かる。</p>

【単元の振り返り】(期待する姿)

・この学習を通して、自分たちの住むまちのよさを発見できた。自然や歴史、文化や遺跡など、たくさんのよさがあり、多くの方がまちを訪れている。自分たちが調べてまとめたガイドブックが役に立ってうれしい。来年は修学旅行があるので、自分たちのまちと修学旅行先のまちを比べてみたり、修学旅行先でこのガイドブックを配ったりしてみたい。 など

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力



単元のため： 自分たちの地域のよさを見つけ、地域を紹介するオリジナルガイドブックを作って紹介しよう(中学校第1学年:50時間)

時期	5月～9月	10月～12月	1月～2月	
探究の過程	まちの歴史や地域住民の思いや願いを調べる(10時間)	まち並みや歴史、まちの課題について考えたことをまとめる(25時間)	将来のまちづくりのためにできることを考える(15時間)	【社会】「私たち歴史探検隊」 ・神話が、神楽をはじめとした各地の伝統芸能に取り入れられ、受け継がれていることに気付く。(知)
課題設定	・自分たちの住んでいる地域について、知っていることや知らないこと、興味があることなどについて出し合い共有することから課題を見いだす。	・小単元1でまとめたまちのよさと、観光客が求めている情報を比較して、課題を見いだす	・ガイドブックを使った効果的な紹介の仕方を考える。	【特別活動】「学級活動(3)」 ・社会の一員としての自覚や責任を持ち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考える。(思・判・表)
情報収集	・地域をフィールドワークしながら、まちのよさについての情報を収集する。	【情報の収集①】 ・まちを訪れた観光客に小単元1で調べたまちのよさを紹介しながら、観光客が求めている情報を収集する。	【情報の収集②】 ・関係課の方々や、観光ガイドの方からの話を聞く。 ・必要に応じて、フィールドワークを行う。	・作成したガイドブックを班ごとやクラスごとに見合い、意見やアドバイスを交換する中で、修正点を見いだす 【国語】「情報を集める」 ・インタビューやアンケートの進め方を理解する。(知・技)
整理分析	・収集した情報を、歴史・文化・建造物などの視点を決めて整理し、それぞれのよさや特徴をまとめる。	・収集した情報を、Yチャート等で視点を決めて分類、整理する。 ・整理したまちのよさを、まちに住んでいる人の視点からランキングする。	・意見やアドバイスを整理し、ガイドブックを修正したり紹介方法を再構成したりする。	【国語】「いろいろな発想方法」 ・目的に合った発想方法で考えを広げたり深めたりする。(知・技)※考えるための技法の活用
まとめ表現振り返り	・整理したまちの特徴を地域の方々に紹介しながら、歴史や文化以外の視点から、さらにまちのよさを収集する。 ・観光ガイドブックなどを参考にする。 【期待する振り返り】 自分たちのまちには歴史や文化など、さまざまなよさがあることが分かった。まちにやってくる観光客は、どのような情報を参考にしているのか。また、自分たちが調べたまちのよさを知っているのか。	・調べたまちのよさがコンパクトに表現できるように内容を考え、マップに整理したガイドブックを作成する。 【期待する振り返り】 ・自分たちの視点で、まちのよさをまとめることができた。まちを訪れた人たちに、このガイドブックでどんどん紹介したい。	・まちに出かけ、まちを訪れた人々にガイドブックを使って紹介する。 ・必要に応じてまちをガイドする。 【期待する振り返り】 ・自分たちが作ったガイドブックが、まちを訪れた人たちに受け入れられてよかった。住んでいる者が勧める場所などにぜひ行ってもらい、何度もこのまちに来てくれるとうれしい。	【国語】「資料の工夫」 ・伝えたい内容を分かりやすく提示するために、資料を工夫する。(思・判・表) 「文章の推敲・原稿用紙の使い方」 ・文章をよりよく仕上げるための推敲や原稿用紙の使い方を身に付ける。(知・技) 「感想を表す言葉」 ・感想を伝えたいとき、それを生き生きと的確に述べるための言葉を増やす。(知・技)
【国語】「情報の集め方を知ろう」	・調べたことを整理し、構成を工夫してレポートを書く。(思・判・表) ・情報を的確に伝える表現や構成に気づき自分のレポートに取り入れる。(知・技)	【国語】「1年間の学びを振り返ろう」(話す・聞く／書く) ・話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら発表する。(知・技) ・1年間の学習の中から題材を選び、分析したことを整理してまとめる。(思・判・表)	【社会】「日本の諸地域」 ・日本の諸地域の地域的特色を、ある地理的事象を中核として、ほかの地理的事象と関連付けるなど多面的・多角的に考察する。(思・判・表) ・地域的特色を学習し考察した過程や結果を、適切に図表にまとめたり、自分の言葉で表現する。(思・判・表) ・日本の諸地域の自然環境や人口、産業などの特色などについて理解する。(知) ・収集した資料から、日本の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめる。(技)	【数学】「資料の活用」 ・目的に合わせて資料を収集したり整理したりして、その傾向を発表する。(思・判・表) ・身のまわりの課題を解決するために、資料の傾向をとらえる。(思・判・表) ・ヒストグラムや代表値などを用いて、資料を整理する。(技)
【国語】「感じたことを整理する」(書く)	・感じたことや読み取ったことを観点別に整理する。(思・判・表)	【国語】「話題や方向を捉えて話し合おう」(話す・聞く) ・話し合いの話題や方向を捉え、相手の反応を踏まえて話したり、自分の考えをまとめて表現する。(思・判・表)		
【社会】「身近な地域の調査」	・調査テーマについて、地域の自然環境や他地域との結び付き、人々の営みとの関わりから、多面的・多角的に考察する。(思・判・表)			

中学校第1学年 総合的な学習の時間の単元計画【50時間】(例)



探究課題(例): 地域の歴史や文化を生かした町づくり, それらに関わる組織や人々の取組とその意義

単元のねらい: 地域の歴史やまち並みについての探究的な学習を通して, 自分たちのまちの歴史や文化, それらに関わる人々の取組等について理解するとともに, 自分たちとまちとの関わりから課題を見だし, その解決に向けて主体的に情報を収集し目的に応じて比較したり関連付けたりして考える力を育て, 地域の人々の思いや願いと自分とのかかわりを大切にして積極的に行動しようとするようにする。

単元のめあて: 地域に学び, 地域に生きる自分たちが, 地域のために何ができるか考えて行動しよう

小単元1(15時間)	資質・能力	小単元2(20時間)	資質・能力	小単元3(15時間)	資質・能力
<p>【課題の設定】 ・八面山平和公園が建設された経緯について調べることを通して, 平和に対する地域の人々の思いや自分の考えから, 課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・地域の観光ガイドの方の話を聞いたり, 現地での調査をしたりする。 ・資料の読み取りから, 八面山平和公園の歴史についての情報を収集する。</p> <p>【整理分析】 ・収集した情報を, KWLやマトリクス等で視点を決めて整理し, 地域の方の考えをまとめる。</p> <p>【まとめ・表現】 ・地域の人々の話や調査活動でわかったことに, 自分の思いや考えを加えてまとめる。</p> <p>【振り返り】 ・八面山平和公園について調べてみると, 平和に対する人々の願いや込められた思いが関係していることが分かった。平和について考えたことを, みんなで実行していきたい。公園の歴史も分かったから, 次は自分たちのまちの歴史も調べてみたい。</p>	<p>地域や資料と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて手段を選択し, 情報を収集する。</p> <p>事象を比較したり因果関係を推論したりして考え, 視点を定めて多様な情報を分析する。</p> <p>課題解決に向けて, 互いの特徴を生かして協働的に探究活動に取り組む。</p> <p>発信に必要な情報を整理し, 相手に応じた表現方法を考える。</p> <p>学習したことを自分との関わりでまとめながら, 新たな疑問を見いだす。</p>	<p>【課題の設定】 ・市内の名所やその歴史, まち並みについて調べることを通して, 自分の住むまちのよいところや課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・現地での調査を行い, 見いだした課題の解決に関連する情報を収集する。(まち並みの歴史的背景など)</p> <p>【整理分析】 ・収集した情報を, Yチャート等で視点を決めて分類, 整理し, まちの現在のよさをまとめ, 今後の課題についての解決策(アイデア)を考える。</p> <p>【まとめ・表現】 ・調査してわかったまち並みや歴史のよさや課題について考えたことなどをパンフレット等にまとめる。 ・グループごとに作成したパンフレット等を読み合い, 全体で共有する。</p> <p>【振り返り】 ・市内のまち並みや歴史を調べてみると, これまであまり意識していなかった自分たちのまちのよさが分かった。来年修学旅行に行ったときに, 自分たちのまちのよさをPRしたい。</p>	<p>仮説を立てて検証方法を考える。</p> <p>目的に応じて手段を選択し, 情報を収集する。</p> <p>課題の解決に向けて, 進んで取り組もうとする。</p> <p>事象を比較したり多面的に検討したりして, 課題の解決に向けて自分の考えを整理する。</p> <p>目的に応じて整理したり表現したりする。</p> <p>学習の進め方を振り返り, 次の学習に生かそうとする。</p>	<p>【課題の設定】 ・小単元1で分かった地域の人々の思いや願い, 小単元2で分かった地域のよさや課題から, 将来のまちづくり等について自分たちに何ができるか考える。</p> <p>【情報の収集】 ・地域に住む様々な職業人をGTとして招き, 講話を聞く。(特別活動との関連)</p> <p>【整理分析】 ・GTの講話からわかったこと, 疑問点を整理したり, 小単元1・2で整理したことを比較したりして, 自分たちにできることを考え, ピラミッドチャートで焦点化する。</p> <p>【まとめ・表現】 ・これまでに考えたり取り組んだりしてきたことを踏まえて, まちを大事にすることや自分たちにできることを提案する。</p> <p>【振り返り】 ・地域に住む人々は, まちづくりや環境保全などについて進んで取り組んでいることが分かった。自分にもできそうなことがたくさんあるので, これからは積極的に関わっていきたい。</p>	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>地域に住む人々の生き方から, 自分の将来を考える。</p> <p>視点を定めて情報を比較・分類・関連付け, 自分たちにできることを考える。</p> <p>地域と自分との関わりが分かる。</p> <p>積極的に地域の活動に参画しようとする。</p> <p>これまでの学習を振り返り, 次年度への学習に見通しを持つ。</p>

【単元の振り返り】(期待する姿)

・自分たちのまちには, 古くから伝わるまち並みや歴史があることや, 他の地域にはないよさがあることが分かった。まちのよさを守ろうとしている人たちの思いや願いを聞くことで, 今まであまり気にしていなかったまちのよさや, これからのまちづくりについて考えることができた。これからは, 自分たちのまちをもっとよくするために, 身近なところからできることに取り組んだり, 地域の行事などにも進んで参加していきたい。 など

※中津地区の実践をもとに作成

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力



単元名: 地域に学び、地域に生きる自分たちが、地域のために何ができるか考えて行動しよう(中学校第1学年:50時間)

時期	5月～9月	10月～12月	1月～2月	
探究の過程	まちの歴史や地域住民の思いや願いを調べる(15時間)	まち並みや歴史、まちの課題について考えたことをまとめる(20時間)	将来のまちづくりのためにできることを考える(15時間)	【社会】「私たち歴史探検隊」 ・神話が、神楽をはじめとした各地の伝統芸能に取り入れられ、受け継がれていることに気付く。(知)
課題設定	・八面山平和公園が建設された経緯について調べるを通して、平和に対する地域の人々の思いや自分の考えから、課題を見いだす。	・市内の名所やその歴史、まち並みについて調べることを通して、自分の住むまちのよいところや課題を見いだす。	・小単元1で分かった地域の人々の思いや願い、小単元2で分かった地域のよさや課題から、将来のまちづくり等について自分たちに何ができるか考える。	【特別活動】「学級活動(3)」 ・社会の一員としての自覚や責任を持ち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考える。(思・判・表)
情報収集	・地域の観光ガイドの方の話を聞いたり、現地での調査をしたりする。 ・資料の読み取りから、八面山平和公園の歴史についての情報を収集する。	・現地での調査を行い、見いだした課題の解決に関連する情報を収集する。 (まち並みの歴史的背景など)	・地域に住む様々な職業人をGTとして招き、講話を聞く。(特別活動との関連)	【国語】「情報を集める」 ・インタビューやアンケートの進め方を理解する。(知・技)
整理分析	・収集した情報を、KWLやマトリックス等で視点を決めて整理し、地域の方の考えをまとめる。	・収集した情報を、チャート等で視点を決めて分類、整理し、まちの現在のよさをまとめ、今後の課題についての解決策(アイデア)を考える。	・GTの講話からわかったこと、疑問点を整理したり、小単元1・2で整理したことを比較したりして、自分たちにできることを考え、ピラミッドチャートで焦点化する。	【国語】「いろいろな発想方法」 ・目的に合った発想方法で考えを広げたり深めたりする。(知・技)※考えるための技法の活用
まとめ表現 振り返り	・地域の人の話や調査活動でわかったことに、自分の思いや考えを加えてまとめる。 【期待する振り返り】 ・八面山平和公園について調べてみると、平和に対する人々の願いや込められた思いが関係していることが分かった。平和について考えたことを、みんなで実行していきたい。公園の歴史も分かったから、次は自分たちのまちのよさも調べてみたい。	・調査してわかったまち並みや歴史のよさや課題について考えたことなどをパンフレット等にまとめる。 ・グループごとに作成したパンフレット等を読み合い、全体で共有する。 【期待する振り返り】 ・市内のまち並みや歴史を調べてみて、これまであまり意識していなかった自分たちのまちのよさが分かった。来年修学旅行に行ったときに、自分たちのまちのよさをPRしたい。	・これまでに考えたり取り組んだりしてきたことを踏まえて、まちを大事にすることや自分たちにできることを提案する。 【期待する振り返り】 ・地域に住む人々は、まちづくりや環境保全などについて進んで取り組んでいることが分かった。自分にもできそうなことがたくさんあるので、これからは積極的に関わっていきたい。	【国語】「資料の工夫」 ・伝えたい内容を分かりやすく提示するために、資料を工夫する。(思・判・表) 「文章の推敲・原稿用紙の使い方」 ・文章をよりよく仕上げるための推敲や原稿用紙の使い方を身に付ける。(知・技) 「感想を表す言葉」 ・感想を伝えたいとき、それを生き生きと的確に述べるための言葉を増やす。(知・技)
【国語】「情報の集め方を知ろう」 ・本やインターネットを用いて情報を集めて読み取り、テーマに対して必要な情報を選択する。(知・技) ・新聞に書かれている情報を整理し、記事の要旨を捉える。(知・技)	【国語】「調べたことを報告しよう」(書く) ・調べたことを整理し、構成を工夫してレポートを書く。(思・判・表) ・情報を的確に伝える表現や構成に気づき自分のレポートに取り入れる。(知・技) 【国語】「話題や方向を捉えて話し合おう」(話す・聞く) ・話し合いの話題や方向を捉え、相手の反応を踏まえて話したり、自分の考えをまとめて表現する。(思・判・表)	【国語】「感じたことを整理する」(書く) ・感じたことや読み取ったことを観点別に整理する。(思・判・表) 【国語】「根拠を明確にして魅力を伝えよう」(書く) ・根拠を明確にして、その魅力を伝える文章を書く。(思・判・表)	【国語】「1年間の学びを振り返ろう」(話す・聞く／書く) ・話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら発表する。(知・技) ・1年間の学習の中から題材を選び、分析したことを整理してまとめる。(思・判・表)	【数学】「資料の活用」 ・目的に合わせて資料を収集したり整理したりして、その傾向を発表する。(思・判・表) ・身のまわりの課題を解決するために、資料の傾向をとらえる。(思・判・表) ・ヒストグラムや代表値などを用いて、資料を整理する。(技)
【国語】「言葉を集めよう」 ・例文の観点を参考にして、多くの言葉を集める。(知・技)	【社会】「身近な地域の調査」 ・調査テーマについて、地域の自然環境や他地域との結びつき、人々の営みとの関わりから、多面的・多角的に考察する。(思・判・表)	【社会】「日本の諸地域」 ・日本の諸地域の地域的特色を、ある地理的事象を中核として、ほかの地理的事象と関連付けるなど多面的・多角的に考察する。(思・判・表) ・地域的特色を学習し考察した過程や結果を、適切に図表にまとめたり、自分の言葉で表現する。(思・判・表) ・日本の諸地域の自然環境や人口、産業などの特色などについて理解する。(知) ・収集した資料から、日本の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめる。(技)		

中学校第2学年 総合的な学習の時間の単元計画【70時間】(例)



探究課題(例): 本匠の特産品である因尾茶の特徴と、その生産に携わる組織や人々の工夫や努力、因尾茶を生かした地域活性化の在り方

単元のねらい: 地域の特産品である「因尾茶」についての体験活動や学習を通して、地域の現状や課題を明らかにし、現状から見いだした課題に対して主体的・独創的に考え、将来の本匠地区を想像しながら、地域と自分自身の関わりを大事にし、積極的に地域を発展させようとする。

単元のめあて: 本匠地区の特産品(因尾茶)をいかに全国に広めるか、その方法を考えよう。

小 単 元 1 25h	【小単元1のめあて】因尾茶について知ろう(25時間)				
	【課題の設定】 ・「茶話会」までの取組をしながら、「因尾茶」に対する興味関心を持たせ、それをどうアピールするかを考える。	【情報の収集】 ・因尾茶についての情報を収集する。 ・茶畑草取り作業を通して、茶葉の生育状態を知る。 ・茶摘作業を通して、地域の老人会との関わりをつくとともに、収穫した生茶量を確認する。	【整理分析】 ・因尾茶について調べたことや、体験活動を通して分かったこと、考えたことを、視点を決めて整理する。	【まとめ・表現】 ・茶話会を開催し、地域の方を招待する。 ・茶話会の場において、調べたことや体験活動のまとめを紹介する。	【振り返り】 ・自分たちの地域には、古くから生産されている因尾茶があり、地元では多くの人々に親しまれていることが分かった。他の地域でも、因尾茶は知られているかどうか、調べてみたい。
	【小単元2のめあて】因尾茶と京都の宇治茶を比較して、因尾茶をPRする方策を考える(25時間+特別活動, 学校行事)				
	【課題の設定】 ・因尾茶をPRするために、どのような取組を進めればよいか。	【情報の収集】 ・道の駅等に訪れている観光客を対象に、因尾茶に関するアンケートをとる。 ・修学旅行で訪問する宇治茶について調べる。 ・自主研修において、宇治茶を使ったお土産調査をする。	【整理分析】 ・アンケートの結果を、視点を決めて分類・整理する。 ・自主研修で調べた結果を整理し、因尾茶のPRポイントやPR方法を考える。	【まとめ・表現】 ・PRしたい内容をまとめる。 ・タブレット等のICT機器を使って、因尾茶のPRポイントのプレゼンを作成する。	【振り返り】 ・京都の宇治茶と比較することで、因尾茶の特徴が分かった。修学旅行先でお土産としてPRする方法も分かった。これを参考にして因尾茶PR作戦を考えたい。
	修学旅行との関連(班編成は特活, 修学旅行自体は行事, 自主研修における情報収集活動は総合としてカウントする)				
小 単 元 2 25h	【小単元3のめあて】因尾茶PR大作戦!(20時間)				
	【課題の設定】 ・因尾茶の効果的にPRするための取組はどのようなものがよいか。 (お茶を使った菓子など)	【情報の収集】 ・それぞれの方法についての情報を収集する。 (菓子の作り方, 各地のお土産, 京都で調べた品物の作り方など) ・実際に作ってみる。	【整理分析】 ・実際に作ったものについて視点を決めて分析する。 (味, 見た目, コスト等) ・改善策を話し合い, 2回目の調理の仕方を考える。 ・発信の方法を考える。	【まとめ・表現】 ・伝えたい相手に応じて表現方法を変えながら, 効果的に伝えるように工夫する。 ・1年間の活動に関わってくださった方々を招待して, 因尾茶サミットを開く。等	【振り返り】 ・自分たちの地域にある因尾茶をPRすることができた。いろいろな地域のお茶や, それを使ったお土産などを参考に, 自分たちのアイディアを生かすことができた。もっともって因尾茶が広がってくれたらいいと思う。

【単元の振り返り】(期待する姿)
・1年間学習してきて、自分たちの町の特産品である因尾茶のことや、それに携わっている人々の思いや願いがよく分かった。人口がどんどん減っている中で、多くの人たちに親しまれている因尾茶を生産し続けていることがどれほど大変なことなのか、ということも分かった。自分たちが住んでいる本匠の自慢の一つだから、この学習で学んだことを生かして、地域の行事などにも積極的に参加していきたい。 など

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力



単元のめあて： 本匠地区の特産品(因尾茶)をいかに全国に広めるか、その方法を考えよう(中学校2年生:70時間)

時期	5月～9月	10月～12月	1月～2月	
探究の過程	因尾茶について調べたことや体験活動をまとめる(25時間)	因尾茶と京都の宇治茶を比較して、因尾茶をPRする方策を考える(25時間)	因尾茶PR大作戦を実行する(20時間)	【国語】「メディアと上手に付き合うために」 ・さまざまなメディアの特徴を理解し、活用のしかたや注意点について、自分の考えをまとめる。(思・判・表)
課題設定	・「茶話会」までの取組をしながら、「因尾茶」に対する興味関心を持たせ、それをどうアピールするかを考える。	・因尾茶をPRするために、どのような取組を進めればよいか。	・因尾茶の効果的にPRするための取組はどのようなものがよいか。 (お茶を使った菓子など)	【国語】「多様な方法で情報を集めよう」 ・興味をもった事柄について、複数の方法で情報を集めて自分の考えを整理する。(思・判・表)
情報収集	・因尾茶についての情報を収集する。 ・茶畑草取り作業を通して、茶葉の生育状態を知る。 ・茶摘作業を通して、地域の老人会との関わりをつくるとともに、収穫した生茶葉を確認する。	・道の駅等に訪れている観光客を対象に、因尾茶に関するアンケートをとる。 ・修学旅行で訪問する宇治茶について調べる。 ・自主研修において、宇治茶を使ったお土産調査をする。	・それぞれの方法についての情報を収集する。 (菓子の作り方、各地のお土産、京都で調べた品物の作り方など) ・実際に作ってみる。	【各教科等】 ・考えるための技法を活用する。
整理分析	・因尾茶について調べたことや、体験活動を通して分かったこと、考えたことを、視点を決めて整理する。	・アンケートの結果を、視点を決めて分類・整理する。 ・自主研修で調べた結果を整理し、因尾茶のPRポイントやPR方法を考える。	・実際に作ったものについて視点を決めて分析する。 (味、見た目、コスト等) ・改善策を話し合い、2回目の調理の仕方を考える。 ・発信の方法を考える。	【国語】「話し合って考えを広げよう」 ・異なる立場を想定して考えをまとめ、説得力のある根拠を述べる。(思・判・表)
まとめ表現振り返り	・茶話会を開催し、地域の方を招待する。 ・茶話会の場において、調べたことや体験活動のまとめを紹介する。 【期待する振り返り】 ・自分たちの地域には、古くから生産されている因尾茶があり、地元では多くの人々に親しまれていることが分かった。他の地域でも、因尾茶は知られているのかどうか、調べてみたい。	・PRしたい内容をまとめる。 ・タブレット等のICT機器を使って、因尾茶のPRポイントのプレゼンを作成する。 【期待する振り返り】 ・京都の宇治茶と比較することで、因尾茶の特徴が分かった。修学旅行先でお土産としてPRする方法も分かった。これを参考にして因尾茶PR作戦を考えたい。	・伝えたい相手に応じて表現方法を変えながら、効果的に仕上げるように工夫する。 ・1年間の活動に関わってくださった方々を招待して、因尾茶サミットを開く。等 【期待する振り返り】 ・自分たちの地域にある因尾茶をPRすることができた。いろいろな地域の茶や、それを使ったお土産などを参考に、自分たちのアイデアを生かすことができた。もっともって因尾茶が広がってくれたらいいと思う。	【国語】「魅力的な提案をしよう」(話す・聞く) ・多様な方法で情報を集め、目的や聞き手に合わせて、材料を整理して、伝えたいことが明確な構成、展開を作る。(思・判・表)
	【国語】「要点を整理して聞き取る」 ・情報を的確に聞き取り、要点を捉えたメモを作成する。(技)	【特別活動】「学校行事・勤労生産・奉仕の行事」 ・勤労生産や奉仕に関して自分のできることを判断し、多様な他者と協力して実践する。(思・判・表)	【家庭】「地域の食材と食文化」 ・地域で生産される食材を知り、調理を通して地域の食文化を知る。(知・技) ・日本の行事食について知り、行事食を生活に生かす。(知・技) ・食生活と環境との関わりについて、輸送、生産者と消費者、地域の気候や地産地消等の視点から多面的に捉え、自分の考えをもつ。(思・判・表)	【国語】「根拠を明確にして意見を書こう」(書く) ・自分の立場を決め、根拠を明らかにして、構成を工夫して文章を書く。(思・判・表)
	【特別活動】「学校行事」(遠足・集団宿泊的行事) ・日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用するように考える(思・判・表)	【社会】「私たち歴史探検隊一町の歴史から将来を考える」 ・これまでの学習活動や体験活動等を踏まえ、持続可能な認定地域となるための提言を考えたり、自分たちができることを実行する。(思・判・表)		【数学】「資料の活用」※中1 ・目的に合わせて資料を収集したり整理したりして、その傾向を発表する。(思・判・表) ・身のまわりの課題を解決するために、資料の傾向をとらえる。(思・判・表) ・ヒストグラムや代表値などを用いて、資料を整理する。(技)
	【家庭】「世代を超えた人々と交流して」 ・家庭生活と地域との関わりや、人々と協力しながら行動することの大切さを考える。(思・判・表)			

中学校第2学年 総合的な学習の時間の単元計画【70時間】(例)



探究課題(例): ○○地域の産業や食などの特徴を生かした地域活性化と、課題の解決に取り組む組織や人々

単元のねらい: 地域を知る(産業、観光、食、まちづくり等)ことによって地域の特徴や課題を見付け、地域と他の地域(修学旅行等)との比較を通して、地域活性化のためのアイデアを考え、より一層地域を活性化しようとする。

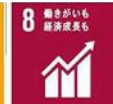
単元のめあて: ○○地域をもっと活性化するための提言を考えよう

小単元1(20時間)	資質・能力	小単元2(30時間+特活, 行事)	資質・能力	小単元3(20時間)	資質・能力
<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○地域が現在もっている特色や魅力は何か、ウェビングマップでイメージを広げ共有する。 ・広げたイメージから、○○地域の課題を探り、単元の課題を設定する。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○地域の特色を調べる。 ・地域の人々からの聞き取り、各分野の専門家によるテーマ別学習会を行う。 ・観光客へのインタビューを行う。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KJ法を使って分類する。 ・分野ごとに特色をまとめる。 ・【課題の設定】で見いだした課題と、整理分析で見いだした事柄を比較して、課題を再構成する。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○地域の特色や、今後取り組んでいきたいことについて、保護者に向けて発表する。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色や課題がわかった。修学旅行先の地域と比べて、いろいろなアイデアを考えたい。 	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>課題の解決に向けて、進んで取り組もうとしている。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <p>課題解決に向けて、互いの特徴を生かして協働的に探究活動に取り組む。</p> <p>事象を比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析する。</p> <p>相手に応じて論理的に表現する。</p>	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○地域の特色や課題を踏まえ、修学旅行先である京都と比較することによって、○○地域を活性化するヒントを見付ける。 ・京都との共通点、相違点を探り、活性化の提言に生かそう。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都の特産やまちづくり等、○○地域で調べたことと同じ視点で調べる。 ・修学旅行時に実際に見学させてもらえるよう、各自で依頼する。 ・修学旅行の自主研修で直接見学やインタビュー、体験などを行う。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行先で収集した情報を整理する。 ・○○地域と比較し、取り入れられそうな取組などを分類整理する。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○地域の特色と京都の特色を対比させ、共通点や相違点が分かるように表現する。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都の特色やまちづくりの取組が参考になった。修学旅行を生かして、地域活性化の提言を具体的に考えたい。 	<p>仮説を立てて検証方法を考える。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班編成、コース選択は特活 ・自主研修での情報収集は総合 ・修学旅行全体は学校行事としてカウント <p>事象を比較したり多面的に検討したりして、課題の解決に向けて自分の考えを整理する。</p> <p>目的に応じて整理したり表現したりする。</p> <p>学習の進め方を振り返り、次の学習に生かそうとする。</p>	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習や京都での自主研修を踏まえて、○○地域の未来を考え、活性化させるための提言を考える。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに蓄積してきたポートフォリオをもとに京都と○○地域を再度比較し、それぞれの特徴や課題解決に向けた取組を整理する。 ・○○地域の現状(産業、食、人口、福祉など)を改めて調査する。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○市への提言を作成する。 ・テーマごとに提言を考える。(まちづくり、食、福祉、など) ・提言の内容を考える。 ・より効果的な表現方法を考える。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政関係者、企業関係者に向けた「○○活性化のための提言」発表会を開催する。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの活性化のために、みんなでアイデアを出し合って提言することができた。それらが実現するとうれしいが、魅力的なまちにするためにできることを、これからも考えていきたい。 	<p>目的に応じて情報を収集する。</p> <p>視点を定めて情報を比較・分類・関連付け、提言を考える。</p> <p>相手や目的、意図に応じて論理的に表現する。</p> <p>地域と自分との関わりを考えながら、積極的に地域の活動に参加する。</p>

【単元の振り返り】(期待する姿)

・地域の活性化に向けた提言を考える中で、自分たちのまちの特色が分かった。特に、京都と比較することで、今まで意識していなかった自分たちのまちのよさや、「もっと～したらいいのにな」という思いが出てきた。私たちの住んでいるまちは、水産業や農業などが有名だけど、それらをPRしたり発信したりすれば、もっと多くの人たちに来てもらうこともできるだろうし、地域のよさについて自分たちがもっともっと知っておくことも大事なことなんだと感じた。これからは、地域の行事などにも積極的に参加していきたい。 など。 ※佐伯地区の実践をもとに作成

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力



単元名: ○○地域をもっと活性化するための提言を考えよう(中学校2年生:70時間)

時期	5月～9月	10月～12月	1月～2月
探究の過程	地域の特色について調べてまとめる(20時間)	京都との比較から、地域活性化のアイデアを考える(30時間)	地域活性化に向けた提言を行う(20時間)
課題設定	<ul style="list-style-type: none"> ○○地域が現在もっている特色や魅力は何か、ウェビングマップでイメージを広げ共有する。 広げたイメージから、○○地域の課題を探り、単元の課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○○地域の特色や課題を踏まえ、修学旅行先である京都と比較することによって、○○地域を活性化するヒントを見付ける。 京都との共通点、相違点を探り、活性化の提言に生かそう。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習や京都での自主研修を踏まえて、○○地域の未来を考え、活性化させるための提言を考える。
情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ○○地域の特色を調べる。 地域の人々からの聞き取り、各分野の専門家によるテーマ別学習会を行う。 観光客へのインタビューを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 京都の特産やまちづくり等、○○地域で調べたことと同じ視点で調べる。 修学旅行時に実際に見学させてもらえるよう、各自で依頼する。 修学旅行の自主研修で直接見学やインタビュー、体験などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに蓄積してきたポートフォリオをもとに京都と○○地域を再度比較し、それぞれの特徴や課題解決に向けた取組を整理する。 ○○地域の現状(産業、食、人口、福祉など)を改めて調査する。
整理分析	<ul style="list-style-type: none"> KJ法を使って分類する。 分野ごとに特色をまとめる。 【課題の設定】で見いだした課題と、整理分析で見いだした事柄を比較して、課題を再構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行先で収集した情報を整理する。 ○○地域と比較し、取り入れられそうな取組などを分類整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○○市への提言を作成する。 テーマごとに提言を考える。(まちづくり、食、福祉、など) 提言の内容を考える。 より効果的な表現方法を考える。
まとめ表現振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ○○地域の特色や、今後取り組んでいきたいことについて、保護者に向けて発表する。 【期待する振り返り】 地域の特色や課題がわかった。修学旅行先の地域と比べて、いろいろなアイデアを考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○○地域の特色と京都の特色を対比させ、共通点や相違点が分かるように表現する。 【期待する振り返り】 京都の特色やまちづくりの取組が参考になった。修学旅行を生かして、地域活性化の提言を具体的に考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政関係者、企業関係者に向けた「○○活性化のための提言」発表会を開催する。 【期待する振り返り】 まちの活性化のために、みんなでアイデアを出し合って提言することができた。それらが実現するとうれしいか、魅力的なまちにするためにできることを、これからも考えていきたい。

【国語】「メディアと上手に付き合うために」
 ・さまざまなメディアの特徴を理解し、活用のしかたや注意点について、自分の考えをまとめる。(思・判・表)

【国語】「多様な方法で情報を集めよう」
 ・興味をもった事柄について、複数の方法で情報を集めて自分の考えを整理する。(思・判・表)

【各教科等】
 ・考えるための技法を活用する。

【国語】「話し合って考えを広げよう」
 ・異なる立場を想定して考えをまとめ、説得力のある根拠を述べる。(思・判・表)

【国語】「魅力的な提案をしよう」(話す・聞く)
 ・多様な方法で情報を集め、目的や聞き手に合わせて、材料を整理して、伝えたいことが明確な構成、展開を作る。(思・判・表)

【国語】「言葉を比べよう」
 ・気持ちを表す言葉の微妙な違いについて考え、語感を磨く。(知・技)

【国語】「根拠を明確にして意見を書こう」(書く)
 ・自分の立場を決め、根拠を明らかにして、構成を工夫して文章を書く。(思・判・表)

【数学】「資料の活用」※中1
 ・目的に合わせて資料を収集したり整理したりして、その傾向を発表する。(思・判・表)
 ・身のまわりの課題を解決するために、資料の傾向をとらえる。(思・判・表)
 ・ヒストグラムや代表値などを用いて、資料を整理する。(技)

【国語】「要点を整理して聞き取る」
 ・情報を的確に聞き取り、要点を押さえたメモを作成する。(技)

【特別活動】「学校行事」(遠足・集団宿泊の行事)
 ・日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用するように考える(思・判・表)



【家庭】「世代を超えた人々と交流して」
 ・家庭生活と地域との関わりや、人々と協力しながら行動することの大切さを考える。(思・判・表)

【社会】「私たち歴史探検隊一冊の歴史から将来を考える」
 ・これまでの学習活動や体験活動等を踏まえ、持続可能な認定地域となるための提言を考えたり、自分たちができることを実行する。(思・判・表)

【家庭】「地域の食材と食文化」
 ・地域で生産される食材を知り、調理を通して地域の食文化を知る。(知・技)
 ・日本の行事食について知り、行事食を生活に生かす。(知・技)
 ・食生活と環境との関わりについて、輸送、生産者と消費者、地域の気候や地産地消等の視点から多面的に捉え、自分の考えをもつ。(思・判・表)

中学校第2学年 総合的な学習の時間の単元計画【70時間】(例)

探究課題(例): 地域の食や歴史及び安全なまちづくりとその取組(町づくり, 防災) ※年間2単元で構成

【ねらい】地域に根付いてきた食文化や歴史を学ぶ活動を通して、その背景や特徴を知り、それらに携わる人々の思いや願いを理解するとともに、課題の解決に向けて主体的・協働的に取り組む態度を育て、郷土を大切にしようとする。(45時間)			【ねらい】津波災害に対する住民の目から見た防災パンフレットを作成する活動を通して、地域環境の現状と課題を明らかにし、防災への意識を高める。(25時間)		
【単元のめあて】地域の食や歴史について調べ、もっと大切にしてもらうための取組を考えて実行しよう			【単元のめあて】自分たちの命を守るための取組を進めよう		
主な学習活動(20時間)	資質・能力	主な学習活動(25時間+特活, 行事)	資質・能力	主な学習活動(25時間)	資質・能力
<p>【課題の設定】 ・地域の食材を生かした料理を調べ、ランキング等で選択した中から、課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・地域の方や家庭で郷土料理についての聞き取りをし、レシピやその料理が誕生した背景、調理上の工夫などについての情報を収集する。 ・その料理のことを知っているかどうか、道の駅などでインタビューする。</p> <p>【整理分析】 ・GTの講話や調べてきたことを、YチャートやXチャートなどで、視点を決めて整理する。 ・伝えたいことをランキングやマトリクスなどで決定する。</p> <p>【まとめ・表現】 ・伝えたいことが効果的に表現できる方法を考え、郷土料理についての作品集を作成し配布する。</p> <p>【振り返り】 ・あつめしやごまだしなどの特徴的な料理が生まれた背景が分かった。調べたものはどれもおいしいものなので、多くの人に食べてもらいたい。古くからあるみたいだから、食以外の歴史も調べてみたい。</p>	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <p>課題解決に向けて、互いの特徴を生かして協働的に探究活動に取り組む。</p> <p>事象を比較したり分類したりして、視点を定めて多様な情報を分析する。</p> <p>相手に応じて効果的に表現する。</p> <p>学習の仕方を振り返り、自分の生活に生かそうとしている。</p>	<p>【課題の設定】 ・食文化の学習から歴史に目を向け、地域の歴史についての関心を持つ。 ・歴史に詳しいGTの講話からポイントを整理し、地域の歴史についての課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・地域の文化財、歴史、建造物、文化遺産等の情報を収集する。 ・京都や奈良では歴史や文化を守るためにどのような取組をしているのか、修学旅行を通して探る。</p> <p>【整理分析】 ・修旅行先で収集した情報を整理する。 ・収集した情報をKWLや座標軸で分類・整理し、伝えたい内容を定める。</p> <p>【まとめ・表現】 ・調査した内容と、歴史や文化を守るために自分たちにできること、修学旅行先との比較などをまとめて発信する。</p> <p>【振り返り】 ・地域の食同様、歴史や文化も様々なものが残っていることが分かった。京都や奈良での取組を参考にすれば、地域の歴史や文化などをみんなが大切にしてくれるのではないだろうか。</p>	<p>仮説を立てて検証方法を考える。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。 ・班編成、コース選択は特活 ・自主研修での情報収集は総合 ・修学旅行全体は学校行事としてカウント</p> <p>事象を比較したり多面的に検討したりして、課題の解決に向けて自分の考えを整理する。</p> <p>目的に応じて整理したり表現したりする。</p> <p>学習の進め方を振り返り、次の学習に生かそうとする。</p> 	<p>【課題の設定】 ・市から配布された防災マップを読み取り、自分たちの地域の現状と課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・防災の専門家、防災士、地区の代表の方から、地域の防災体制や災害時の行動についての話を聞く。 ・地域の方々に、災害時の備えなどについて尋ねる。 ・避難所へのルート歩き、整備状況や危険箇所などを調査する。</p> <p>【整理分析】 ・各地区の津波への防災・減災の取組の特徴を視点を決めて整理する。 ・避難所へのルート等をマップにまとめる。</p> <p>【まとめ・表現】 ・取り組んできたことをまとめ、防災パンフレットを作成して配布する。</p> <p>【振り返り】 ・自分の命は自分で守ることの大切さを実感した。地域の人たちが、みんなの命を守るための取組を進めていて、自分の家はどうしていたかなとふと思った。しっかり準備していきたい。</p>	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて情報を収集する。</p> <p>視点を定めて情報を比較・分類・関連付けて整理する。</p> <p>相手や目的、意図に応じて論理的に表現する。</p> 
【単元の振り返り】(期待する姿) ・自分たちの地域には、さまざまな食や歴史、文化が根付いていることが分かった。それに関わって、食文化を広げようとしたり、歴史や文化を守ろうとしている人たちの取組も分かった。普段あまり気にしていなかったことを深く学習することができたので、これからはもっと大切にしていきたいと思った。 など			【単元の振り返り】(期待する姿) 地域の防災の取組を学んで、自分自身のことを見直した。もっと意識を持って、自分の命を自分で守るようにしていきたい。		

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力



探究課題(例): 地域の食や歴史及び安全なまちづくりとその取組(町づくり, 防災) ※年間2単元で構成(中学校2年生:70時間)

時期	5月～9月	10月～12月	1月～2月	
探究の過程	地域の食や歴史について調べ、もっと大切にもらうための取組を考えて実行する(45時間)		自分たちの命を守るための取組を進める(25時間)	【国語】「メディアと上手に付き合うために」 ・さまざまなメディアの特徴を理解し、活用のしかたや注意点について、自分の考えをまとめる。(思・判・表)
課題設定	・地域の食材を生かした料理を調べ、ランキング等で選択した中から、課題を見いだす。	・食文化の学習から歴史に目を向け、地域の歴史についての関心を持つ。 ・歴史に詳しいGTの講話からポイントを整理し、地域の歴史についての課題を見いだす。	・市から配布された防災マップを読み取り、自分たちの地域の現状と課題を見いだす。	【国語】「多様な方法で情報を集めよう」 ・興味をもった事柄について、複数の方法で情報を集めて自分の考えを整理する。(思・判・表)
情報収集	・地域の方や家庭で郷土料理についての聞き取りをし、レシピやその料理が誕生した背景、調理上の工夫などについての情報を収集する。 ・その料理のことを知っているかどうか、道の駅などでインタビューする。	・地域の文化財、歴史、建造物、文化遺産等の情報を収集する。 ・京都や奈良では歴史や文化を守るためにどのような取組をしているのか、修学旅行を通して探る。	・防災の専門家、防災士、地区の代表の方から、地域の防災体制や災害時の行動についての話を聞く。 ・地域の方々に、災害時の備えなどについて尋ねる。 ・避難所へのルート歩き、整備状況や危険箇所などを調査する。	【国語】「要点を整理して聞き取る」 ・情報を的確に聞き取り、要点を押さえたメモを作成する。(技)
整理分析	・GTの講話や調べてきたことを、YチャートやXチャートなどで、視点を決めて整理する。 ・伝えたいことをランキングやマトリクスなどで決定する。	・修旅行先で収集した情報を整理する。 ・収集した情報をKWLや座標軸で分類・整理し、伝えたい内容を定める。	・各地区の津波への防災・減災の取組の特徴を視点を決めて整理する。 ・避難所へのルート等をマップにまとめる。	【各教科等】 ・考えるための技法を活用する。
まとめ表現振り返り	・伝えたいことが効果的に表現できる方法を考え、郷土料理についての作品集を作成し配布する。 【期待する振り返り】 ・あつめしやごまだしなどの特徴的な料理が生まれた背景が分かった。調べたものはどれもおいしいものなので、多くの人に食べてもらいたい。古くからあるみたいだから、食以外の歴史も調べてみたい。	・調査した内容と、歴史や文化を守るために自分たちができること、修学旅行先との比較などをまとめて発信する。 【期待する振り返り】 ・地域の食同様、歴史や文化も様々なものが残っていることが分かった。京都や奈良での取組を参考にすれば、地域の歴史や文化などをみんなが大切にしてくれるのではないだろうか。	・取り組んできたことをまとめ、防災パンフレットを作成して配布する。 【期待する振り返り】 ・自分の命は自分で守ることの大切さを実感した。地域の人たちが、みんなの命を守るための取組を進めていて、自分の家はどうしていたかなとふと思った。しっかり準備していきたい。	【国語】「話し合って考えを広げよう」 ・異なる立場を想定して考えをまとめ、説得力のある根拠を述べる。(思・判・表)
家庭】「地域の食材と食文化」 地域で生産される食材を知り、調理を通して地域の食文化を知る。(知・技) 日本の行事食について知り、行事食を生活に生かす。(知・技) 食生活と環境との関わりについて、輸送、生産者と消費者、地域の気候や地産地消等の視点から多面的に捉え、自分の考えをもつ。(思・判・表)	【社会】「私たち歴史探検隊一町の歴史から将来を考えるー」 ・これまでの学習活動や体験活動等を踏まえ、持続可能な認定地域となるための提言を考えたり、自分たちができることを実行する。(思・判・表)	【理科】「気象観測」 ・観測結果から、天気、気温、湿度の相互の関連を見だし、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現(思・判・表) ・前線の特徴、低気圧の移動、気象観測や気象情報をもとに、「雨が激しくなるのはいつか」を考える。(思・判・表)	【国語】「根拠を明確にして意見を書こう」(書く) ・自分の立場を決め、根拠を明らかにして、構成を工夫して文章を書く。(思・判・表)	
家庭】「世代を超えた人々と交流して」 家庭生活と地域との関わりや、人々と協力しながら行動することの大切さを考える。(思・判・表)	【特別活動】「学校行事」(遠足・集団宿泊の行事) ・日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用するように考える(思・判・表)	【社会】「身近な地域の調査」 ・身近な地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取りあげ、それらを多面的・多角的に調査し、考察する。(思・判・表) ・地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取り、活用する。また、調査結果もわかりやすくまとめ、表現する。(技)	【数学】「資料の活用」※中1 ・目的に合わせて資料を収集したり整理したりして、その傾向を発表する。(思・判・表) ・身のまわりの課題を解決するために、資料の傾向をとらえる。(思・判・表) ・ヒストグラムや代表値などを用いて、資料を整理する。(技)	
	【国語】「言葉比べよう」 ・気持ちを表す言葉の微妙な違いについて考え、語感を磨く。(知・技)			



中学校第3学年 総合的な学習の時間の単元計画【70時間】(例)



探究課題(例): 自分たちのふるさとの特徴と、そこに生きる人々が大切にしている文化などを生かしたまちづくりの意義

単元のねらい: 「ふるさと犬飼」に生きる人々やジオパークについての探究的な学習を通して、ふるさとの特徴を理解し、その中から課題を見だし、解決に向けて主体的・協働的に情報を収集し目的に応じて整理したり関連付けたりして考える力を育てるとともに、自分と地域との関わりを考えながら今後の自分や地域の将来の在り方を考えようとする。

単元のめあて: 自分たちのふるさと犬飼の活性化に向けた取り組みを考え、みんなを巻き込んで行動しよう

小単元1(20時間)	資質・能力	小単元2(30時間)	資質・能力	小単元3(20時間)	資質・能力
<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと犬飼や豊後大野市のジオパークと中学生アンケートの結果から、地域の現状を明らかにする。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地形、地質、自然、文化等に関わる地域の人々に話を聴き、ふるさとやジオパークに関する情報を収集する。 現地を見学する。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報をKJ法等で整理し、ふるさとの特徴をまとめる。 ふるさとのよさを生かす方策や、ふるさとの課題を解決するアイデアを考える。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことをまとめて共有する。 共有したことから、わかったことや疑問に思うことを整理する。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさとは様々なよさや課題があることが分かった。活性化に向けた取組を考えるためには、ふるさとの課題についてもっと深く調べたり考えたりする必要があると思う。 	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <p>視点を定めて多様な情報を整理する。</p> <p>学習したことを自分との関わりでまとめる中で、新たな疑問を見いだす。</p> <p>学習を振り返り、次の課題を見いだして進んで取り組もうとする。</p>	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小単元1で設定したテーマについて、関連性のある内容ごとに班編成し、課題を設定する。 ◆自然を守るためには ◆ジオパークの歴史と見所は ◆犬飼の鮎の楽しみ方 など <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 班ごとに必要な情報を収集する。 関係課や携わっている人々に話を聞く。必要に応じて体験活動を行う。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を、Yチャート等で視点を決めて分類、整理する。 小単元1で考えた方策やアイデアを見直す。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 班ごとに調べてまとめた情報に自分たちの考えを加え、「ジオパークの楽しみ方」新聞(パンフレット)にまとめる。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとつのテーマにしぼって調べたり考えたりしたことで、さらにジオパークのよさが分かった。 	<p>仮説を立てて検証方法を考える。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <p>課題の解決に向けて、進んで取り組もうとする。</p> <p>事象を比較したり多面的に検討したりして、課題の解決に向けて自分の考えを整理する。</p> <p>目的に応じて整理したり表現したりする。</p> <p>学習の進め方を振り返り、次の学習に生かそうとする。</p>	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小単元2でまとめた内容をもとに、「ジオパークを生かした町おこし」をテーマに課題を設定する。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他地域の町おこしの事例から、必要な情報を収集する。 地域の方からも、町おこしをテーマにしたアイデアを収集する。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を整理し、「自分たちでできる」「関係者と連携が必要」「すぐに取り組むことができる」等の視点で分析する。 これまでの取組の成果と課題を整理して、発信する内容と方法を考える。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ジオパークを生かした町おこしのPR動画を作成したり、町おこしアイデアをまとめて関係課にプレゼンテーションする。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちが考えたアイデアを提案することができた。PR動画を多くの人たちに見てもらって、ジオパークに遊びに来てくれる人たちが増えると嬉しい。 	<p>これまでの学習を関連付け、課題を設定する。</p> <p>目的をはっきりさせて必要な情報を収集する。</p> <p>視点を定めて比較したり分類したりして情報を分析する。</p> <p>相手や目的に応じて表現方法を選択し、効果的に表現する。</p> <p>ふるさとと自分との関わりが分かり、地域の活動に進んで参加しようとする。</p>

【単元の振り返り】(期待する姿)

自分たちのふるさとがジオパークに認定されていたことは知っていたが、どのような特徴やよさがあるのか、この学習を通して学ぶことができた。実際に調べたり体験したりしたこと、みんなとアイデアを考えたり話し合ったりすることがとても楽しかった。将来、ふるさとを離れて生活することもあると思うけど、そこで出会った人たちに私のふるさとを自慢したい。 など

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力



単元のためて： 自分たちのふるさと犬飼の活性化に向けた取り組みを考え、みんなを巻き込んで行動しよう(中学校3年生:70時間)

時期	5月～9月	10月～12月	1月～2月
探究の過程	地域の特色について調べてまとめ、よさを生かす方策を考える。(20時間)	よさを生かす方策を具体的に考える(30時間)	調べたり考えたりしたことを踏まえて、町おこしを実行する(20時間)
課題設定	・ふるさと犬飼や豊後大野市のジオパークと中学生アンケートの結果から、地域の現状を明らかにする。	・小単元1で設定したテーマをについて、関連性のある内容ごとに班編成し、課題を設定する。 ◆自然を守るためには ◆ジオパークの歴史と見所は ◆犬飼の鮎の楽しみ方 など	・小単元2でまとめた内容をもとに、「ジオパークを生かした町おこし」をテーマに課題を設定する。
情報収集	・地形、地質、自然、文化等に関わる地域の人々に話を聴き、ふるさとやジオパークに関する情報を収集する。 ・現地を見学する。	・班ごとに必要な情報を収集する。 ・関係課や携わっている人々に話を聞く。必要に応じて体験活動を行う。	・他地域の町おこしの事例から、必要な情報を収集する。 ・地域の方からも、町おこしをテーマにしたアイデアを収集する。
整理分析	・収集した情報をKJ法等で整理し、ふるさとの特徴をまとめる。 ・ふるさとのよさを生かす方策や、ふるさとの課題を解決するアイデアを考える。	・収集した情報を、Yチャート等で視点を決めて分類整理する。 ・小単元1で考えた方策やアイデアを見直す。	・収集した情報を整理し、「自分たちでできる」「関係者と連携が必要」「すぐに取り組むことができる」等の視点で分析する。 ・これまでの取組の成果と課題を整理して、発信する内容と方法を考える。
まとめ表現振り返り	・調べたことをまとめて共有する。 ・共有したことから、わかったことや疑問に思うことを整理する。 【期待する振り返り】 ・ふるさとには様々なよさや課題があることが分かった。活性化に向けた取組を考えるためには、ふるさとの課題についてもっと深く調べたり考えたりする必要があると思う。	・班ごとに調べてまとめた情報に自分たちの考えを加え、「ジオパークの楽しみ方」新聞(パンフレット)にまとめる。 【期待する振り返り】 ・ひとつのテーマにしぼって調べたり考えたりしたことで、さらにジオパークのよさが分かった。	・ジオパークを生かした町おこしのPR動画を作成したり、町おこしアイデアをまとめて関係課にプレゼンテーションする。 【期待する振り返り】 ・自分たちが考えたアイデアを提案することができた。PR動画を多くの人たちに見てもらって、ジオパークに遊びに来てくれる人たちが増えると嬉しい。
【国語】「社会との関わりを考えよう」(話す・聞く)	【社会】「私たちの生活と文化について考えよう」 ・身近な地域社会のなかから、伝統文化を受け継いでいる事例を取り上げ、これからも継承することの意義を考え表現する。(思・判・表)	【家庭】「世代を超えた人々と交流して」 ・地域との関わりについて考え、人々と協力しながら行動することの大切さが分かる。(知・技)	【国語】「説得力のある文章を書こう」(書く) ・分析のための観点を示し、判断や批評の根拠を明確にし、資料を適切に引用して、説得力のある構成で批評文を書く。(思・判・表) ・友達の書いた批評文から参考になる部分や表現を指摘し、自分の表現に役立てる。(思・判・表)
【国語】「魅力的な紙面を作ろう」(書く)	【社会】「持続可能な社会について考えよう」 ・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、判断して、その過程や結果を適切に表現する。(思・判・表)	【家庭】「伝統文化を受け継ぎ、生活に生かす」 ・自分の住んでいる地域の文化を知るとともに、他の地域についても理解し、生活に生かす。(知・技)	【理科】「自然環境と人間のかかわり」 ・調査の結果を分析して身近な自然環境について科学的に考察し、自分の考えを表現する。(思・判・表) ・調べた結果を多面的、総合的にとらえて、自然と人間のかかわり方について科学的に考察し、自分の考えを表現する。(思・判・表)

※これまでに身に付けた情報収集の方法

※考えるための技法の活用

【国語】「話し合って提案をまとめよう」(話す・聞く)
・社会生活の中から話題を決めて資料などを活用して提案する。(思・判・表)
・観点に沿って論点を整理し、長所を生かしてよりよい結論になるように話し合いを進行する。(思・判・表)

【国語】「観点を立てて分析する」(書く)
・観点を立てて分析することで、課題について論じたり評価したりする。(思・判・表)

【国語】「話し合いの方法」(話す・聞く)
・話し合う目的や人数に応じて、適切な方法を選ぶ。(思・判・表)

【国語】「推敲して文章を整える」(書く)
・示された観点に沿って文章を見直し、文章全体を整える。(思・判・表)

【国語】「いろいろな文章形態」(書く)
・伝えたい内容や目的に応じた形態を選んで書く。(思・判・表)

【理科】「これからの暮らしを考えよう」
・設定したテーマに対し、見通しをもって調査を行ったり、資料を活用したりして、適切に結果を整理し、まとめる。(技)
・自然環境を保全したり、科学技術を利用したりしている例をあげ、持続可能な社会をつくることの重要性を理解する。(知)
・設定した課題について調査結果から、自分の考えをまとめ、表現する。(思・判・表)